

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

エルガー、永遠の愛。

エルガーの晩年の傑作と遺作。
人生の最期まで音に託したものは、
英国の誇り高き精神と
妻への愛だった。



©Martin Richardson

指揮 **尾高 忠明**

Conductor: TADAAKI OTAKA

コンサートマスター 小森谷 巧

Concertmaster: TAKUMI KOMORIYA

チェロ **宮田 大**

Cello: DAI MIYATA

エルガー: チェロ協奏曲 ホ短調 作品85

ELGAR: Cello Concerto in E minor, op.85

エルガー: 交響曲 第3番 (ペイン補完) 作品88

ELGAR: Symphony No. 3, op.88 (elaborated by ANTHONY PAYNE)



©Takiko Kojima

読売日本交響楽団 第542回 定期演奏会

2014 **11/22** (土) 18時開演 サントリーホール

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

The 542nd Subscription Concert / Sat. 22nd Nov. 18:00 / Suntory Hall

読売日本交響楽団 第171回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

2014 **11/24** (月・休) 14時開演 東京芸術劇場コンサートホール

S ~~sold out~~ ¥5,100 A ¥5,100 B ¥4,100 C ~~sold out~~ ¥3,600 ジュニアシート(大人同伴の小中高生) ¥1,500

The 171st Tokyo Metropolitan Theatre Matinée Series / Mon. 24th Nov. 14:00
Tokyo Metropolitan Theatre

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 協力: アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社) [11/22] 事業提携: 東京芸術劇場 [11/24]

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休) <http://yomikyo.or.jp/> プレイガイド: チケットぴあ、e+ ほか

誇り高きイングランド魂が、 いま胸に響く。

オヤマダアツシ(音楽ライター)

日本において近現代のイギリス音楽、特にエドワード・エルガーの普及に貢献しているのは、間違いなく尾高忠明だろう。イギリス本国においても評価が高い尾高のエルガーは、輝かしい栄光の日々を私たちに伝えてくれる熱意にあふれ、有名なロンドンのウェストミンスター寺院などで見られる圧倒的なゴシック様式の建築美を、コンサートホールへ再現してみせる。エルガーの交響曲は誇り高きイングランド魂の象徴であり、ロマン派最後期の時代における交響曲のあり方を示したひとつの回答だと言えるだろう。

そのエルガーが最晩年に作曲を試み、道半ばにして天国へと召されてしまったため未完成となった交響曲第3番は、1998年になってようやく初演されている。少なくとも第1楽章が演奏可能なスコアとして成立していたマーラーの交響曲第10番と違い、残っていたのはごくわずかなスコアと膨大なスケッチのみ。作曲家アンソニー・ペインによる補筆・完成稿に対しては、当然ながら「これは本当に“エルガーの作

品”なのだろうか?」という疑問も寄せられた。しかし音楽は、まず演奏されなければ議論さえも生まれない。尾高はこの曲を機会あるごとに指揮して、私たち聴衆に評価を促してきたのだ。熱意と共感にあふれる音楽家を得た作品は幸せである。今回は読響の力強いサウンドが、天国の作曲者と私たちを結ぶ使徒(または弁護士)となったマエストロの思いをしっかりと受け止め、この曲の歴史に新しい1ページを加えるだろう。

そして交響曲第3番と同様、晩年のエルガーを描き出すチェロ協奏曲が同じコンサートで聴けるとは、なんとという幸福。いろいろなコンサートや録音で何度も聴いた……などと言うなかれ。尾高の指揮に加え、幅広い表現力と清々しいまでの張り詰めた音で作品へ切り込んでいく宮田大のチェロは、この名作協奏曲へ新鮮な光を当ててくれるに違いない。

エルガーが天国へと召されて、今年は80年目を迎えている。

conductor Tadaaki Otaka 指揮 尾高 忠明

イギリス音楽を得意とする世界的指揮者。1992年から98年まで、読響の第6代常任指揮者として数々の名演を生んだ。現在は名誉客演指揮者の地位にある。

1947年鎌倉生まれ。東京フィル常任指揮者、札幌正指揮者、BBCウェールズ響首席指揮者、メルボルン響首席指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督などを歴任。現在、BBCウェールズ響桂冠指揮者、N響正指揮者、札幌音楽監督などを務めている。ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC響、バーミンガム市響、ベルリン放送響、フランクフルト放送響などに客演。

97年英国エリザベス女王より大英勳章CBEを、99年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与。東京藝術大学音楽学部指揮科主任教授、相愛大学音楽学部、京都市立芸術大学音楽部客員教授。



©読響

cello Dai Miyata チェロ 宮田 大

現在最も注目を集めている若手実力派チェリスト。栃木県宇都宮出身。2005年日本音楽コンクール第1位、09年ロストロポーヴィチ国際コンクールで日本人として初優勝。桐朋学園音楽部門特待生、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースを首席で卒業、ジュネーヴ音楽院卒業、クロンベルク・アカデミー修了。出光音楽賞、ホテルオーケストラ音楽賞などを受賞。

ザールブリュッケン・カイザースラウテルン・ドイツ放送フィル、読響、N響などと共演するほか、室内楽ではクレーメル、バシュメット、ウェンゲローフ、ハレルら著名な演奏家とも共演。

12年、小澤征爾指揮／水戸室内管の東京公演にソリストとして出演し、情熱的な演奏で聴衆を魅了し絶賛された。この模様はテレビで放送され、大きな反響を呼んだ。



©読響

読売日本交響楽団 第542回 定期演奏会

2014年 11月22日(土) 18時開演

サントリーホール

S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001(オフィス)

●JR・西武池袋線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分、東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

読売日本交響楽団 第171回 東京芸術劇場マチネシリーズ

2014年 11月24日(月・休) 14時開演

東京芸術劇場コンサートホール

S ~~¥5,000~~ / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ~~¥3,000~~ / ジュニアシート(大人同伴の小中高生) ¥1,500

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(*駅地下通路2b出口と直結しています)

※観客サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸術キッズルーム muse(ミューズ) 03-3981-7003 [11/24公演]

●学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

●団体割引: 読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

●都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。●未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席を選んでチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンを除く)

*チケットを郵送ご希望の場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(11/22公演分)、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(11/24公演分)、イープラス <http://eplus.jp/>